

# クルーズ振興を通じた地方創生

～クルーズ100万人時代に向けた取組～

平成27年2月13日  
国土交通省 港湾局

# 成長著しい北東アジアに位置する日本～地理的に優位性のある日本～

○我が国の周辺地域（韓国、中国主要沿海10省市、香港、台湾）の常住人口は約6億人であり、国・地域別の訪日外国人旅行者数は、台湾、韓国、中国の順に多く、アジアからの旅行者が8割程度を占める。  
 ○中国をはじめとする近隣諸国・地域の経済成長とともに観光客の増加が期待される。

我が国周辺地域の人口

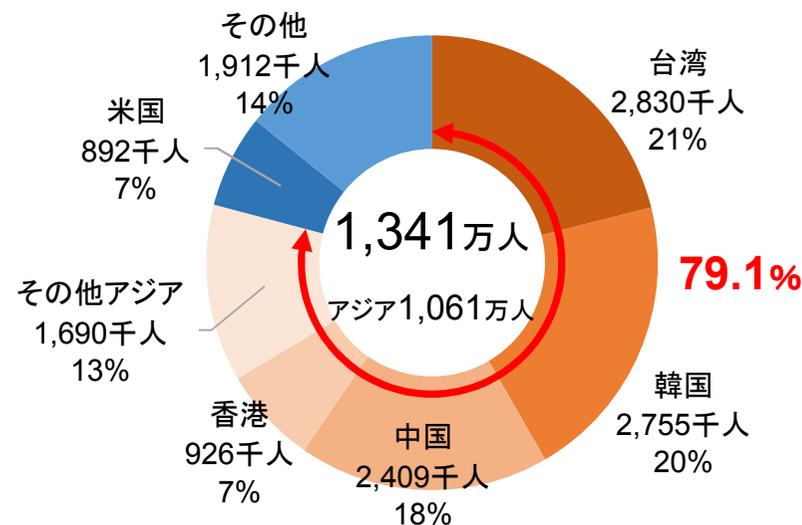


我が国周辺国・地域の1人あたりGDPとGDP成長率（2013年）



出典：日本貿易振興機構（JETRO）国・地域別情報

国・地域別訪日外国人旅行者の割合（2014年推計値）



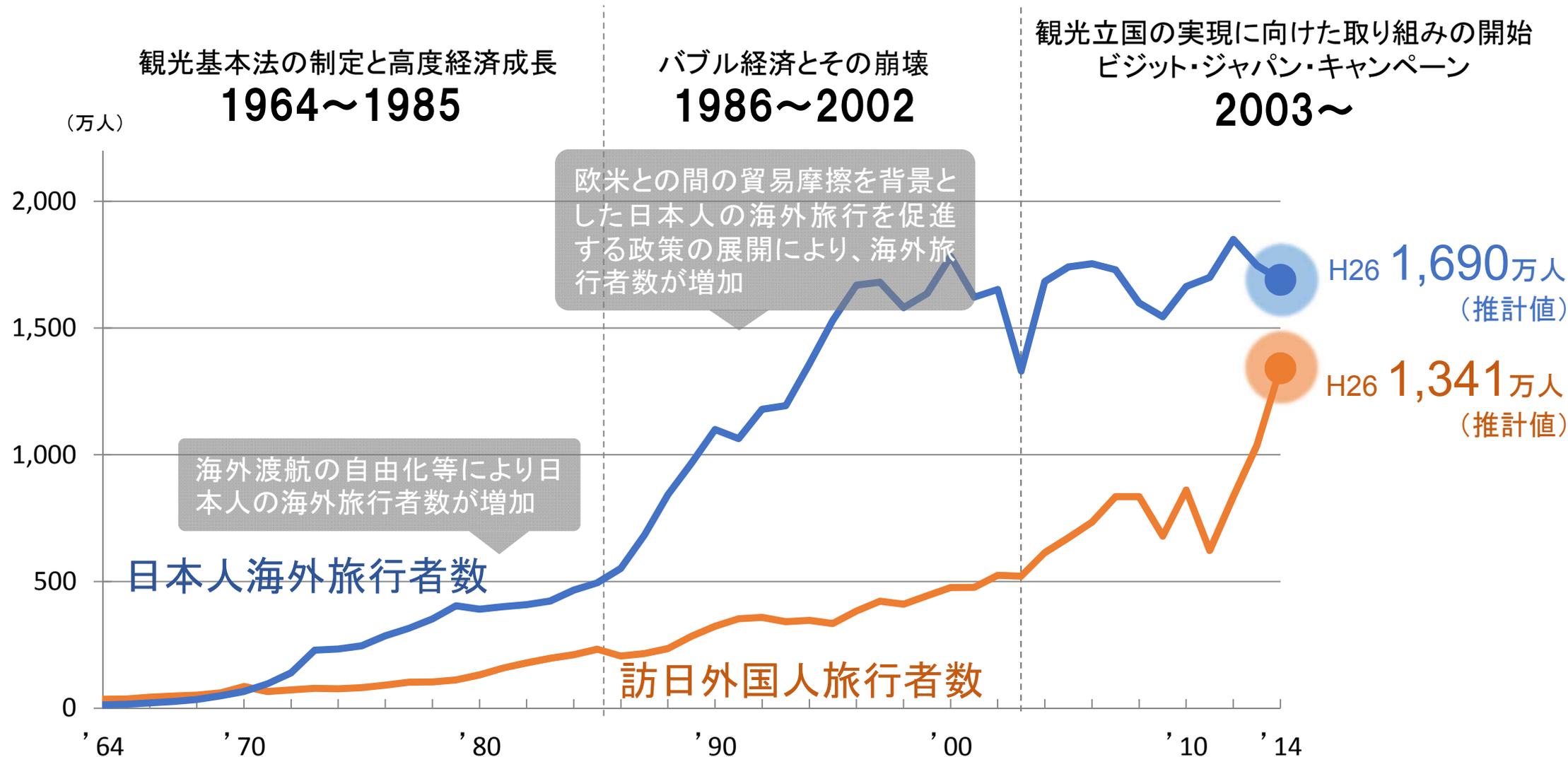
出典：日本政府観光局（JNTO）資料より港湾局作成

※「その他アジア」にはタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドを含み、「その他」には上記以外のアジアの国を含む。

# 日本人の海外旅行者数及び訪日外国人旅行者数の推移

○ 2014年の訪日外国人旅行者数は、過去最高の約1,341万人(対前年比29.4%増)と順調に増加しており、引き続き、訪日外国人旅行者数を拡大するための取組をさらに推進。

## 日本人の海外旅行者数 及び 訪日外国人旅行者数 の推移



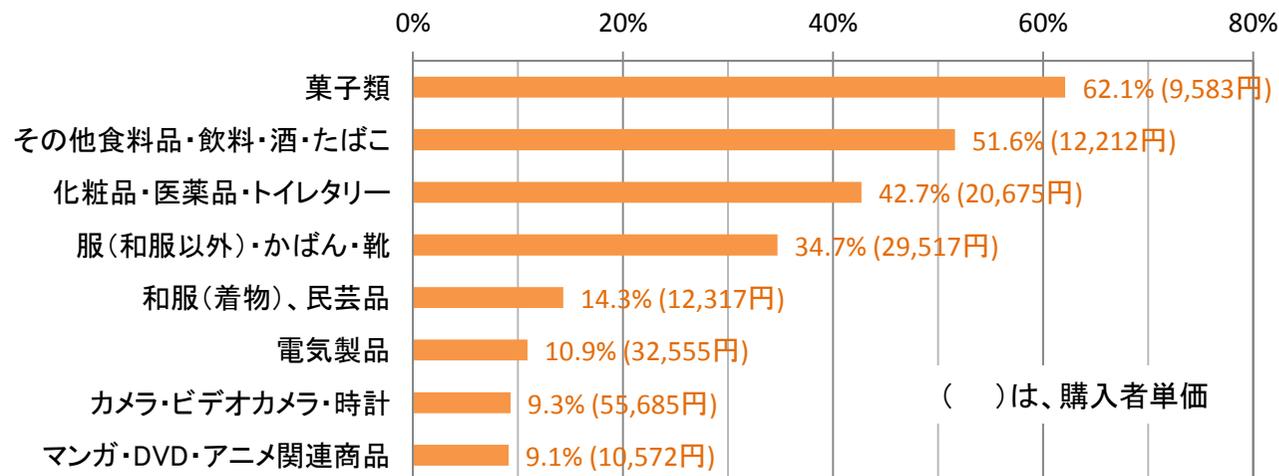
# 訪日外国人旅行者の消費動向～日常生活それ自体がアメイジング～

- 外国人旅行者が訪日中に実施した活動は「日本食を食べること」(96.6%)、「ショッピング」(77.2%)、「繁華街の街歩き」(66.6%)の順が多い。
- 土産品等の購入率を見ると、「菓子類」、「その他食料品・飲料・酒・たばこ」、「化粧品・医薬品・トイレタリー」の順で高い。一方、購入者単価をみると、「カメラ・ビデオカメラ・時計」、「電気製品」、「服(和服以外)・かばん・靴」の順で高い。
- 訪日外国人1人当たりの旅行支出額は、平均で13万円程度と推計され、中国からの訪日客は21万円と突出している。

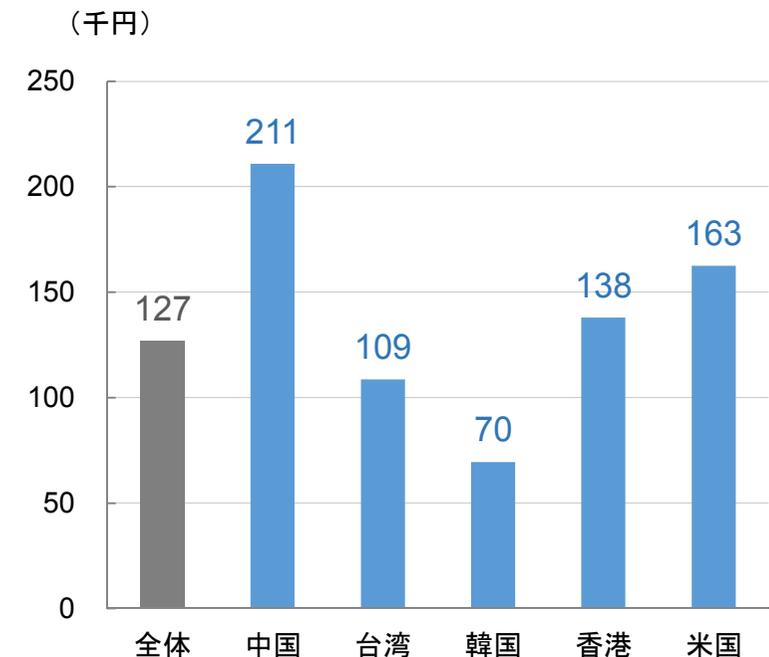
## 外国人旅行者が今回の日本訪問で実施した活動（全体：複数回答）（2013年）

1位	日本食を食べること	96.6%
2位	ショッピング	77.2%
3位	繁華街の街歩き	66.6%
4位	自然・景勝地観光	56.9%
5位	旅館に宿泊	50.9%

## 土産品等の品目別購入率（2013年）



## 主要国・地域からの訪日外国人1人当たりの日本滞在中の旅行支出額（観光・レジャー目的※ビジネス等を除く）（2013年）

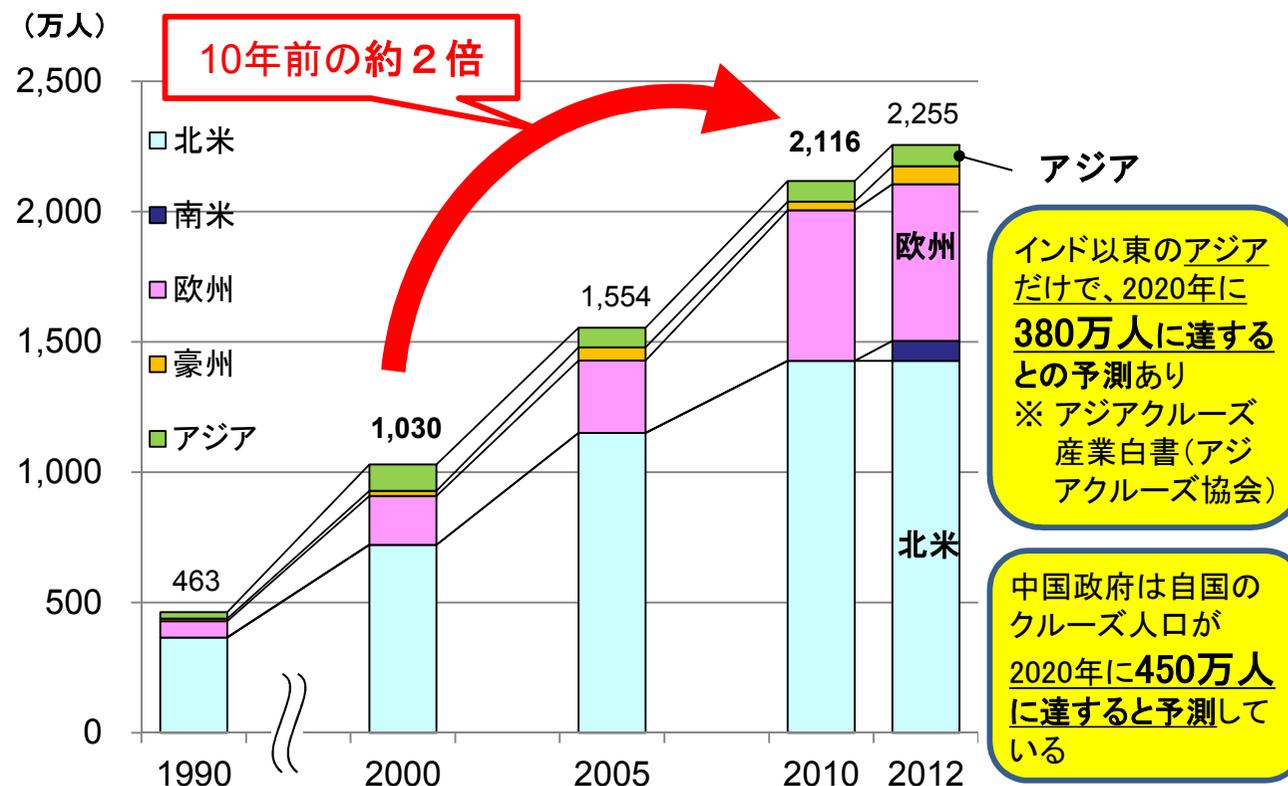


出典：平成25年 訪日外国人の消費動向（観光庁）より港湾局作成  
注）パッケージツアーのうち日本国内に支払われる支出が含まれる

# 世界のクルーズ人口の現状と将来予測

- 世界のクルーズ人口は急速に増加し、10年前の2倍強(2000年(1,030万人), 2010年(2,116万人))となり、今後も増加する見込み。
- 特にアジアでは、経済成長とともにクルーズ人口が急増と言われており、我が国は、2020年にクルーズ船で入国する外国人旅客数100万人(クルーズ100万人時代)を目標として取り組んでいる。

### 世界のクルーズ人口の推移



### 世界のクルーズマーケットのイメージ

#### ラグジュアリー(ブティック※含む)

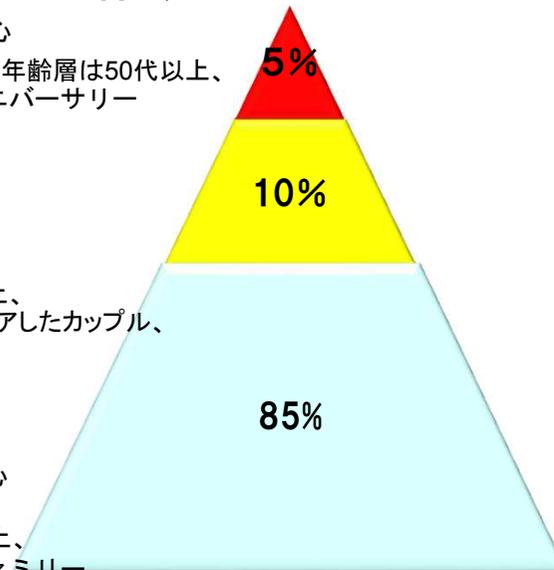
10泊以上のクルーズ中心  
1泊: \$400~、乗客の年齢層は50代以上、タイプはリタイア、アニバーサリー

#### プレミアム

7泊以上のクルーズ中心  
1泊: \$200~、乗客の年齢層は30代以上、タイプは熟年以上、リタイアしたカップル、友人、ハネムーン

#### カジュアル

3~7泊のクルーズ中心  
1泊: \$70~、乗客の年齢層は20代以上、現役~熟年、友人、ファミリー



※小型の豪華客船によるクルーズ。料金は1泊あたり600米ドル以上。

出典: 2014年海事レポート(国土交通省)より港湾局作成

出典: 2014クルーズ教本(JOPA)より港湾局作成

# クルーズ船で入国する外国人旅客数

観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014(抜粋)  
 ・2020年に「クルーズ100万人時代」の実現を目指す

海港から入国する  
 外国人旅客数  
 67.9万人 ※

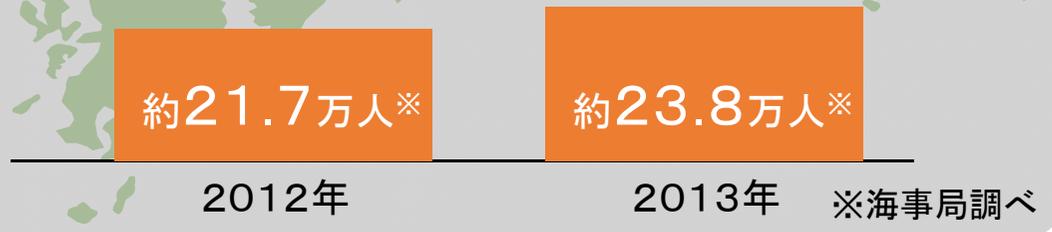


定期旅客船等で  
 入国する  
 外国人旅客  
 約50.5万人

クルーズ船で  
 入国する  
 外国人旅客数

※ 法務省入国管理局の統計による外国人入国者数(乗員を除く)。

我が国のクルーズ人口  
 (日本人のクルーズ旅行利用者数)



※海事局調べ

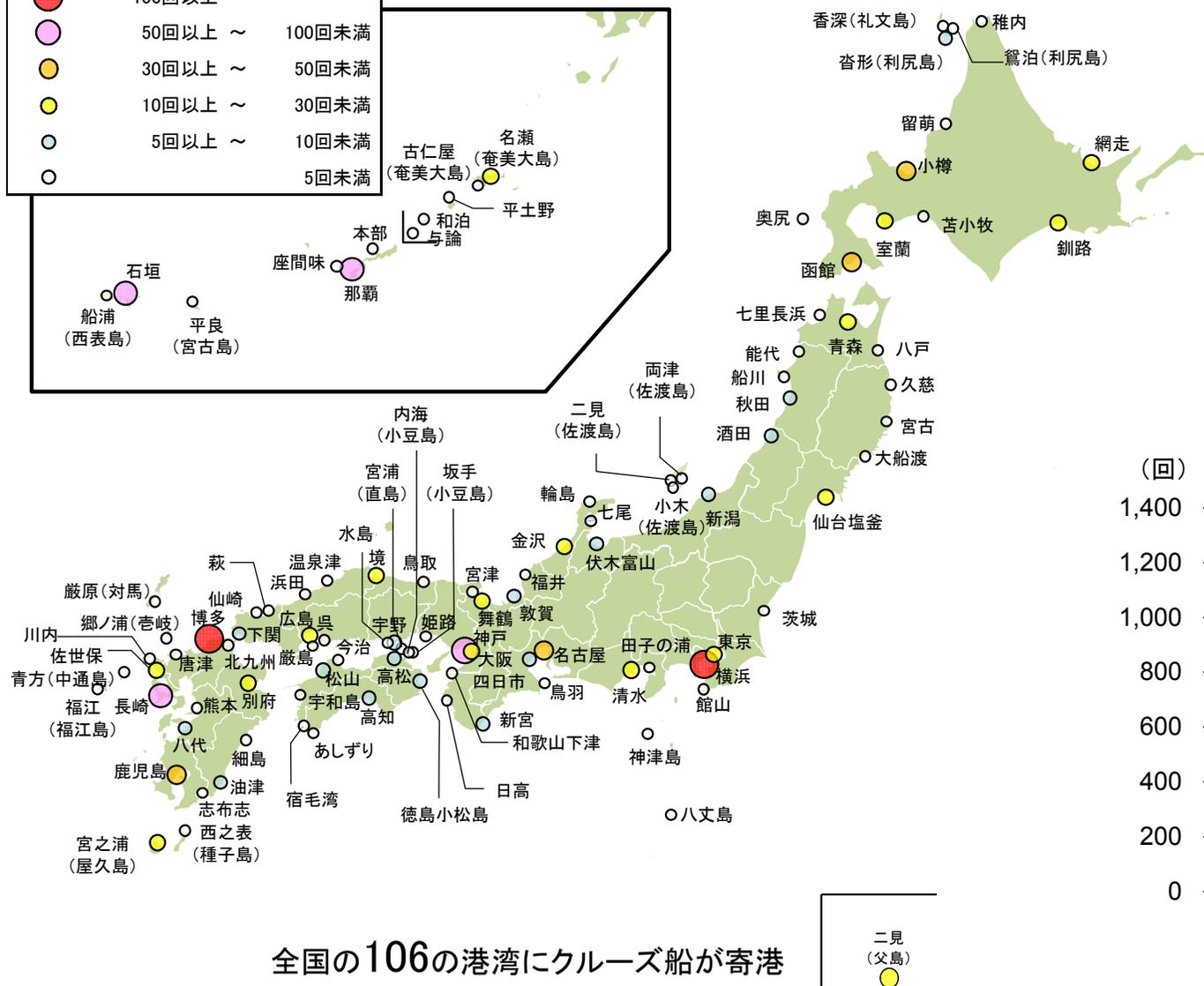
# 2014年 我が国へのクルーズ船の寄港状況(速報値)

○ 2014年の我が国へのクルーズ船の寄港回数は、外国船社による日本発着クルーズや中国発着クルーズの日本寄港の増加等により、過去最高となる1203回となった。  
 ※クルーズ:レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの

凡 例

● (赤)	100回以上
● (紫)	50回以上 ~ 100回未満
● (黄)	30回以上 ~ 50回未満
● (橙)	10回以上 ~ 30回未満
○ (白)	5回以上 ~ 10回未満
○ (白)	5回未満

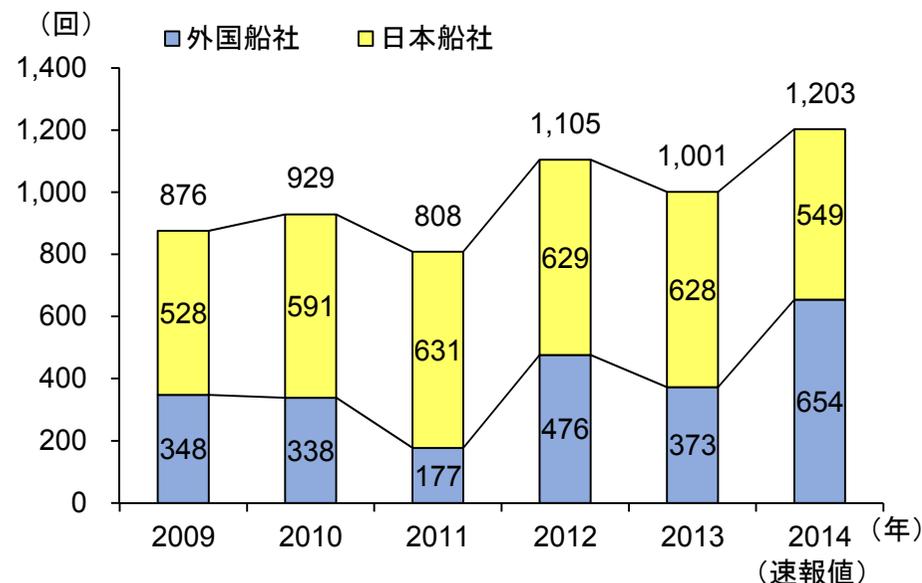
クルーズ船の寄港回数 (2014年:速報値)



クルーズ船の寄港回数上位10港 (2014年:速報値)

順位	港湾名	回数	うち外国船
1	横浜	146	48
2	博多	115	99
3	神戸	99	32
4	那覇	80	68
5	長崎	75	70
6	石垣	73	69
7	小樽	41	31
8	函館	36	27
9	鹿児島	33	29
10	名古屋	30	3

我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数の推移



出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成  
 注) 2014年はH27.1月初旬時点の速報値

# 大型化が進むクルーズ船

船名	船型<総トン数>	船幅	乗客定員
<b>飛鳥Ⅱ</b> (邦船最大のクルーズ船 '13年137回寄港) 初就航:1990年	<50,142トン> マスト高 45m 必要岸壁水深 9m程度 満載喫水 7.8m	29.6m	872人
<b>Sun Princess</b> ('13年より日本発着クルーズに配船 '13年46回寄港) 初就航:1995年	<77,441トン> マスト高 50m 必要岸壁水深 9m程度 満載喫水 8.1m	32.3m	1,990人 (2,250)
<b>Diamond Princess</b> ('14年より日本発着クルーズに配船 '13年7回寄港) 初就航:2004年	<115,875トン> マスト高 54m 必要岸壁水深 10m程度 満載喫水 8.5m	37.5m	2,670人 (3,286)
<b>Voyager of the Seas</b> ('13年より日本発着クルーズに配船 '13年18回寄港) 初就航:1999年 ※2014年改装	<138,194トン> マスト高 64m 必要岸壁水深 10m程度 満載喫水 9.1m	38.6m	3,286人 (4,000)
<b>Queen Mary 2</b> (日本に寄港した最大のクルーズ船 '12年2回寄港) 初就航:2004年	<148,528トン> マスト高 62m 必要岸壁水深 12m程度 満載喫水 10.3m	41.0m	2,592人 (3,056)
<b>Oasis of the Seas</b> (世界最大のクルーズ船 寄港実績なし) 初就航:2009年	<225,282トン> マスト高 65m 必要岸壁水深 11m程度 満載喫水 9.1m	64.0m	5,400人 (6,360)

出典:「クルーズシップコレクション2014・2015(海事プレス社)」、船社代理店への聞き取り調査を基に国土交通省港湾局作成。

※乗客定員は、1室2人使用時、( )書は全ベッド使用時

※日本の主な橋梁の桁下高 レインボーブリッジ:52m 横浜ベイブリッジ:55m 関門橋:61m 明石海峡大橋、女神大橋(長崎):65m

※クアンタム・オブ・ザ・シーズ(Quantum of the Seas) 総トン数 167,800トン 全長 348m 全幅 41.4m 喫水 8.5m マスト高 62.5m 乗客定員 4,180人

※クイーン・エリザベス(Queen Elizabeth) 総トン数 90,901トン 全長 294m 全幅 32.3m 喫水 7.9m マスト高 55m

※につぼん丸 総トン数 22,472トン 全長 167m 喫水 6.6m 乗客定員 398人 ※ぱしふいっくびいなす 総トン数 26,594トン 全長 183m 喫水 6.5m 乗客定員 476人

※(参考) 国会議事堂 長さ(南北)206m 高さ(中央棟)65m

# クルーズを通じて世界遺産にアクセス容易な日本

○クルーズを通じて、全国津々浦々の18もの世界遺産にアクセスが容易な日本。

○富士山を初め世界遺産を海からの動的景観として、広角で雄大な景色を楽しむことができる。加えて、寄港地からのアクセスが容易なことも魅力の一つ。(クルーズは21世紀最大の観光商品)

## <世界遺産一覧>

- |                              |
|------------------------------|
| ①法隆寺地域の仏教建造物                 |
| ②姫路城                         |
| ③屋久島                         |
| ④白神山地                        |
| ⑤古都京都の文化財                    |
| ⑥白川郷・五箇山の合掌造り集落              |
| ⑦原爆ドーム                       |
| ⑧厳島神社                        |
| ⑨古都奈良の文化財                    |
| ⑩日光の社寺                       |
| ⑪琉球王国のグスク及び関連遺産群             |
| ⑫紀伊山地の霊場と参詣道                 |
| ⑬知床                          |
| ⑭石見银山遺跡とその文化的景観              |
| ⑮小笠原諸島                       |
| ⑯平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 |
| ⑰富士山—信仰の対象と芸術の源泉             |
| ⑱富岡製糸場と絹産業遺産群                |

青字:文化遺産 赤字:自然遺産

②



⑤



④



⑭



①



⑥



⑦



⑫



⑧



⑪



③



⑬



⑯



⑩



⑱



⑰

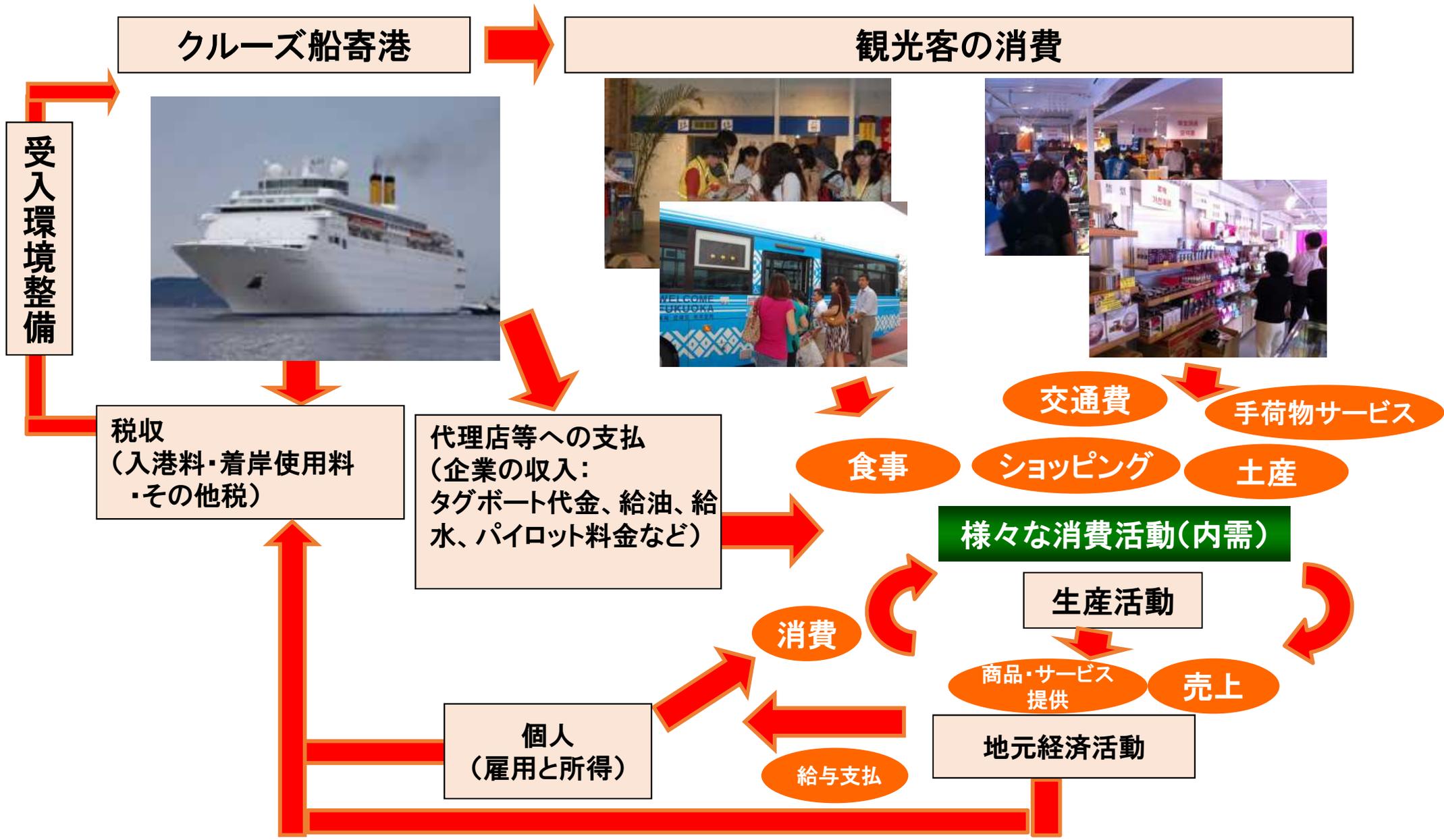


⑮



📍 最寄りの港湾

出典: 図は外務省HP(我が国の世界遺産一覧表記載物件)。写真は、ゆんフリー写真素材集(Photo by <http://www.yunphoto.net/>)、知床斜里町観光協会HP、青森県HP等より引用



# 外国クルーズ船の寄港による経済効果～クルーズ船は宝船～

- 大型クルーズ船の寄港地における経済効果は1人当たり3～4万円と試算され、特に母港(発着地)になると、その効果は、さらに大きなものとなる。
- 韓国政府による試算では、'12年の国内寄港観光客28万人の直接支出額のみで、1,300億ウォン(1人当たり平均消費512米ドル>一般観光客の2倍)の経済効果があると報告されている。

## 既往の経済波及効果分析結果の例



ポートターミナル内で買い物を楽しむクルーズ客(神戸港)

[寄港地]  
**神戸港**※2  
 (乗客3,616人)  
 約1.4億円/回  
 3.8万円/人・日

### 経済波及効果

**直接効果**  
 クルーズ客により寄港地及びその周辺に観光消費が発生(例:飲食、土産品購入、ツアー参加など)

**1次間接効果**  
 観光消費の発生により、原材料購入等を通じ、関連産業の生産を誘発

**2次間接効果**  
 直接・第1次波及効果の発生による雇用者所得の増加から、消費支出が増加し、関連産業の生産を誘発

**韓国**※5  
 512米ドル/人・日

クルーズ客の直接消費額のみ



オプションツアーに出かけるクルーズ客(那覇港)

[寄港地]  
**那覇港**※4  
 (乗客3,609人)  
 約1.4億円/回  
 3.8万円/人・日

乗客へのアンケートによる1人あたりの平均消費金額及び直接的経済効果

[寄港地]  
**博多港**※3  
 (乗客1,362人)  
 約0.4億円/回  
 3.2万円/人・日

[発着地]  
**横浜港**※1  
 (乗客500人)  
 約2.1億円/回  
 42.4万円/人・日

入港料や給油、食材、船用品などが含まれている。



家電量販店で買い物をするクルーズ客(博多港)

出典 ※1 横浜市港湾局(2012):横浜港と地域経済～経済効果調査の結果から見た横浜港の役割～  
 ※2 神戸市調べ(2012)  
 ※3 福岡市経済振興局(2010):外国クルーズ客船寄港による福岡市経済への波及効果等調査  
 ※4 沖縄総合事務局(2012):外国クルーズ客船の那覇港寄港による経済効果について  
 ※5 韓国政府資料(2013):海洋新産業育成と雇用創出のためのクルーズ産業活性化対策

# クルーズ100万人時代に向けた取組

○クルーズ振興を通じた地方の創生を図るため、既存施設を有効に活用しつつ、旅客船ターミナルの整備やクルーズ客の円滑な周遊を可能とするための環境整備等を加速化させ、2020年に「クルーズ100万人時代」の実現を目指す。

1. 「全国クルーズ活性化会議」(会長:横浜市長、全国106の首長等が参加)と連携して、クルーズ船社、港湾管理者、自治体が参加する商談会・シンポジウムを開催。



船社と港湾管理者等による商談会

2. 外国クルーズ船社等が我が国への寄港を検討する際に必要となる港湾施設の諸元や、寄港地周辺の観光情報を一元的に発信するウェブサイト(※1、※2)を充実。

## ※1「Wharf Information」

## ※2「CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN」

■Wharf (Pier) Information  
埠頭別情報

Wharf (Pier) name: ふ頭名: Osanbashi-Pier	
III. PHYSICAL CONSIDERATIONS 物理的留意事項	
1. Berth 岸壁	Length / Water depth 延長/水深 ① A~B: 450m / 12m ② C~D: 450m / 10~11m ③ Height of the pier above MLW or chart datum (平均干潮位又は海図基準からの) 岸壁の高さ ① A~D: 2.45m ② ③ Pier depth (distance to the closest obstruction behind the pier edge) 岸壁の幅 (岸壁の端から背後障害物までの距離) ① A~D: 20m ② ③ Minimum depth across the berth 岸壁の最低水深 ① AB 12m ② C 11m ③ D 10m
2. Channel 航路	Width / water depth 幅/水深 ① <Width>A~D 385~638m ② <Depth>A~D 11.8~32m ③
3. Turning basin (diameter) 回頭泊地 (直径)	① Ship Length overall ×2 (2LOA) ② ③
4. Clearance 高さ制限	① Approx.53m ② ③
5. Maximum tidal range / max currents 最大潮差	<Tidal range>HHW: 2.30m/LLW: 0m

博多港周辺観光情報

CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN  
<http://www.mlit.go.jp/cruise/cruise/>

**太宰府天満宮**

学問の神・菅原道真公を祀り、受験合格などを祈願する参拝者が国内外から訪れ賑わっている太宰府の名所。桃山様式の本殿や御神木の飛梅、国宝を納めた宝物殿など見どころもいっぱい。

所在地・開催地	〒818-0195 福岡県太宰府市奉天 4-7-1
アクセス	ツアー・貸車バスより車で45分(16km) 個人・電車で西鉄太宰府線「太宰府」駅下車徒歩5分(16km)
季節	通年
関連リンク	太宰府天満宮 <a href="http://www.dazaifutenmangu.or.jp/about">http://www.dazaifutenmangu.or.jp/about</a> 九州国立博物館 <a href="http://www.kyuhaku.jp/">http://www.kyuhaku.jp/</a>

お問い合わせ【太宰府天満宮社務部】  
電話番号:092-922-8225  
ホームページ:<http://www.dazaifutenmangu.jp/contact>

**大濠公園・舞鶴公園**

大濠公園は市の中心部にありながら春夏秋冬自然に親しむことができる市民のオアシスで、元々は福岡城の外濠だった。舞鶴公園(福岡城址)は石垣、櫓、門、堀などが残り、四季が織り成す美しい自然の風景を楽しむことができる。特に春の桜が有名で、福岡城さくらまつりなど、市内屈指の花見の名所として知られる。

所在地・開催地	〒810-0051 福岡市中央区大濠公園
アクセス	ツアー・貸車バスより車で10分(3.3km) 個人・自転車
季節	通年

3. 外航クルーズ客に多様なサービス(通信環境の改善や多言語対応等)を提供する海のゲートウェイとして「みなとオアシス」を活用。



外航クルーズ船寄港時の無料Wi-Fiの臨時ブースの設置



案内標識等の統一化

4. 外国クルーズ船社等からの問い合わせに、一元的に「ワンストップ窓口」で対応するとともに、更なる周知を推進。

5. アジア地域等においてクルーズ人口が増加する中、物流ターミナル等の既存ストックを有効活用しつつ、クルーズ船を円滑に受け入れるため、クルーズ船とバスの乗り換え導線の改善などの先導的事業を新たに実施。



受入を円滑化

《物流ターミナルにおけるクルーズ船の受入状況(例)》

6. 外航クルーズ船の寄港時に埠頭において臨時の仮設店舗の免税許可申請を簡素化。



岸壁や旅客船ターミナルにおける地元物産販売の例

全国86港を掲載

全国72港の観光情報を掲載

# 地方を訪れる外国人旅行者向け消費税免税店の拡大(クルーズ埠頭)

## 施策の背景

- 大型クルーズ船1回の寄港では2千人から3千人の訪日外国人旅行者が来訪し、寄港地では消耗品を含む物品が大量に購入される。
- 平成26年10月1日より免税対象物品に食品類、飲料類等の消耗品が追加されたことと相まって、クルーズ埠頭(クルーズ船の接岸岸壁や旅客船ターミナル等)で物品を免税で販売できれば、訪日外国人による地元物産品等の大量購入に繋がることが期待される。
- 一方、クルーズ埠頭に臨時出店する仮設店舗について、免税店の許可申請手続きが出店者に負担となっている。

## 要望の結果

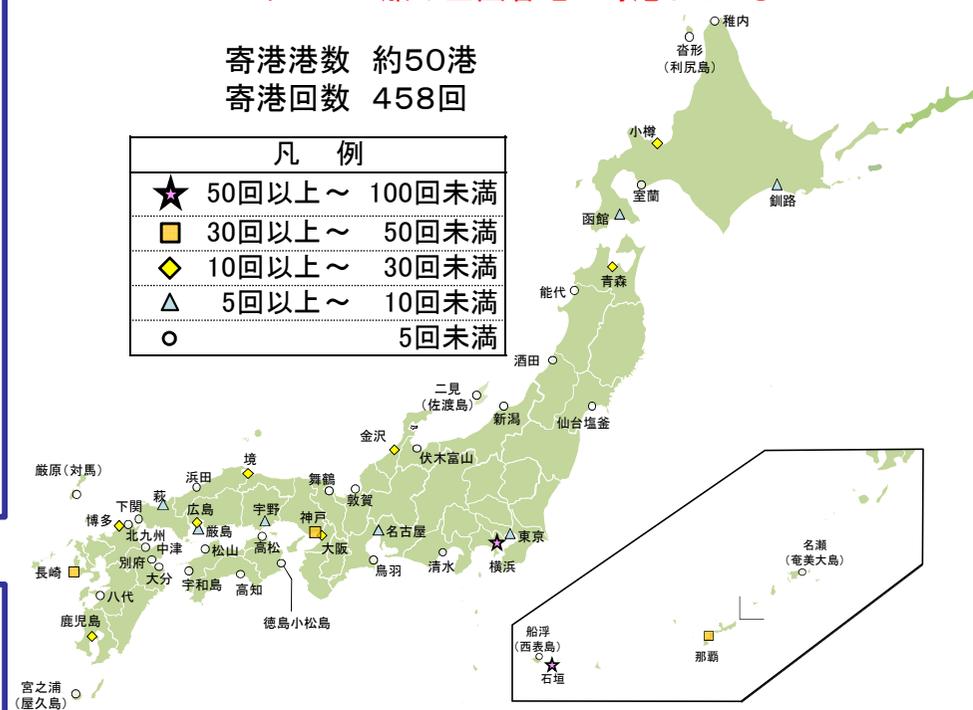
外航クルーズ船の寄港時に埠頭に臨時出店する仮設店舗の免税許可申請を簡素化する。

## 我が国への外航クルーズ船の寄港実績(2013年)

クルーズ船は全国各地に寄港している

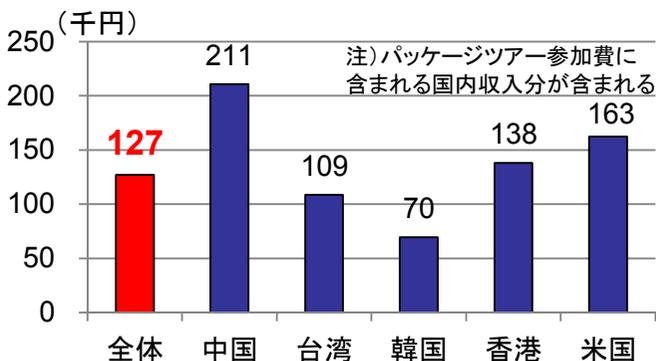
寄港港数 約50港  
寄港回数 458回

凡 例	
★	50回以上～100回未満
■	30回以上～50回未満
◆	10回以上～30回未満
△	5回以上～10回未満
○	5回未満



出典: 港湾管理者の聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

## 主要国・地域からの訪日外国人の1人当たりの旅行支出額(観光・レジャー目的)(2013年)



## アジア\*のクルーズ人口の予測



出典: アジアクルーズ協会

「アジア・クルーズ産業白書2014年版」

\*インド、ベトナム、タイ、フィリピン、韓国、日本、マレーシア、インドネシア、シンガポール、台湾、香港、中国

## 岸壁や旅客船ターミナルにおける地元物産販売の例



# 増加・大型化するクルーズ船の円滑な受入に向けて

- クルーズ船の大型化や寄港増にともない、橋梁をくぐれない、岸壁の延長が不足等の課題が生じている。
- 貨物ふ頭の転用や一時使用等、既存施設を有効に活用しつつ、大型クルーズ船に対応した必要な機能の確保を図る。

秋田港の事例



油津港の事例



## (改良イメージ)

外国の大型クルーズ船の寄港に備え、既存岸壁の係船柱や防舷材の改良を実施。



■瀬戸内海沿岸市町村の相互連携を通じ、瀬戸内地域全体の更なる振興と発展を図ることを目的に、瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関で構成（平成3年5月設立）

### 設立目的

瀬戸内海沿岸の各地域が連携して交流の促進、情報の発信、交流基盤の整備等に取り組み、瀬戸内海地域全体の更なる振興と発展を図ることを目的に平成3年5月に設立

### 協議会の活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震・津波に対応した防災ネットワークの整備
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海の環境創造

### 会員構成

- (市町村会員) 107市町村  
 (県会員) 11府県  
 (大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、山口県、福岡県、大分県)  
 (国会員) 国土交通省9地方機関  
 (近畿・中国・四国・九州運輸局、神戸運輸監理部長、近畿・中国・四国・九州地方整備局)

### 107の市町村会員

山口県	
下関市長	
宇部市長	
山口市長	
防府市長	
岩国市長	
光市長	
柳井市長	
周南市長	
山陽小野田市長	
周防大島町長	
上関町長	
平生町長	

広島県	
広島市長	
呉市長	
竹原市長	
三原市長	
尾道市長	
福山市長	
大竹市長	
東広島市長	
廿日市市長	
江田島市長	
海田町長	
坂町長	
大崎上島町長	

岡山県	
岡山市長	
倉敷市長	
玉野市長	
笠岡市長	
備前市長	
瀬戸内市長	
浅口市長	

兵庫県	
神戸市長	
姫路市長	
尼崎市長	
明石市長	
西宮市長	
洲本市長	
芦屋市長	
相生市長	
加古川市長	
赤穂市長	
高砂市長	
南あわじ市長	
淡路市長	
たつの市長	
播磨町長	

大阪府	
大阪市長	
堺市長	
岸和田市長	
泉大津市長	
貝塚市長	
高石市長	
泉佐野市長	
泉南市長	
阪南市長	
忠岡町長	
田尻町長	
岬町長	

和歌山県	
和歌山市市長	
海南市長	
有田市長	
湯浅町長	
広川町長	
日高町長	
由良町長	

徳島県	
徳島市長	
鳴門市長	
小松島市長	
阿南市長	
松茂町長	

香川県	
高松市長	
丸亀市長	
坂出市長	
観音寺市長	
さぬき市長	
東かがわ市長	
三豊市長	
土庄町長	
小豆島町長	
直島町長	
宇多津町長	
多度津町長	

愛媛県	
松山市市長	
今治市長	
宇和島市長	
八幡浜市長	
新居浜市長	
西条市長	
大洲市長	
伊予市長	
四国中央市長	
西予市長	
上島町長	
松前町長	
伊方町長	
愛南町長	

福岡県	
北九州市市長	
苅田町長	

大分県	
大分市長	
別府市長	
佐伯市長	
中津市長	
臼杵市長	
津久見市長	
国東市長	
姫島村長	